西予市

議会だより

2005年
9月
定例会

第6号

2005.10.20発行



宇和中学校秋季運動会

Contents

一般会計補正予算 ❷
質疑とまちづくり ❹
10議員一般質問 ❻
東温市議会来庁 ⓬
市民の声 ⓭
委員会審査報告 ⓮
リレー議員紹介 ⓱
特集 先進地視察報告 ⓲

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／兵頭　勇　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1 TEL0894-62-6413

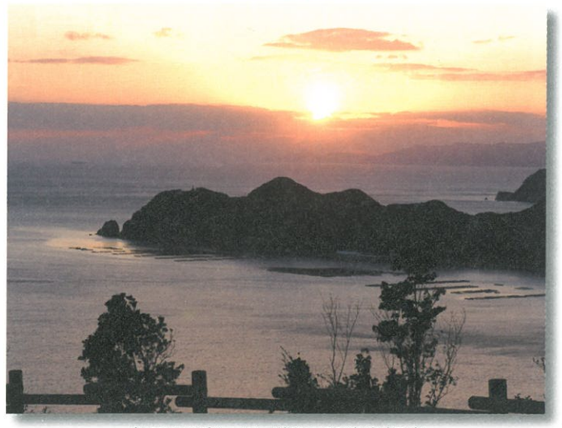
西予議会だより　第6号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai/gikai.html　E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の情景



宇和町商工会の運動会

わが町の取って置きのスポット



夕日に浮かぶ三瓶町須崎寝観音

まだまだあるぞ 地域に残る小さな行事

花取り踊り

野村町蔵良　岡成地区

今から330～340年前元和年間の8月5日、岡成部落は、12戸のうち8戸まで焼けるという大火災がありました。原因は天候急変、すなわち落雷によるものです。部落の人々は、再びこのような災難が起こらないようにと神仏に祈願し、この〝花取り踊り〟を献上したと伝えられています。



がんばる編集委員

京都府美山町を視察研修

議会だより編集委員会では、年に一回の視察研修を実施しており、今年は議会だよりコンクールで入賞を果たした美山町議会を訪問し、編集委員の方々と意見交換等を実施しました。

美山町は茅葺き民家の里として重要伝統的建造物群の選定を文化庁から受け、それが町の観光の目玉となっている町です。茅葺き民家が屋根を連ねる山里は、その町の歴史と文化を現代に伝え、それを大切に町づくりに取り組んでいました。

議会だよりは、さすがに苦労を重ねられており、編集委員一人ひとりの与えられた役割を確実にこなす、得意分野を尊重し合いひとつの議会だよりを作り上げるという精神を感じました。

西予市議会だよりの自慢としては、31人の議員全員の思いで作り上げられており、今回の視察費用も全議員が負担しているということに大変感動をしていただきました。



美山町編集委員のみなさんと



茅葺き民家の美山町町並み

編集後記

9月議会定例会にも多数の傍聴をいただき活発な質問戦が展開されました。多くの傍聴者に感謝申し上げます。

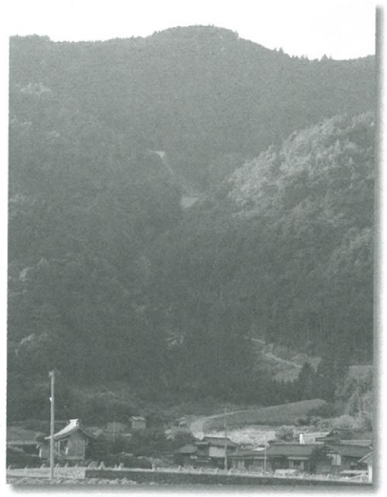
さて、暑い夏が過ぎ、9月も終わりました。今年の残暑は殊のほかきびしい毎日でしたが、台風14号で被害に遭われた方々には復旧に向け頑張られていることと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

本号より写真コンクールの公募をさせていただきましたが、今回は採用に至りませんでした。

これからも読みやすい親しみやすい、議会だよりづくりに努めてまいりますので、ご意見、ご要望など、よろしくお願いいたします。（よ）

編集委員

◎委員長　松山　清
○副委員長　鍵原　芳和
委員　田中　剛
宇都宮明宏
元親　孝志
亀井　秀男
浅野　忠昭
菊地ミスギ


災害復旧が進む宇和町伊延地区

特別会計予算の主な事業

国民健康保険特別会計
（事業勘定分）
△5千700万円
総額51億7千300万円
（診療所勘定は除く）

農業集落排水事業特別会計
2千200万円
宇和の田之筋恵比須橋架替えに伴う管渠移転工事費と野村の県道改良工事に伴う管渠移転工事費
総額9億3千700万円

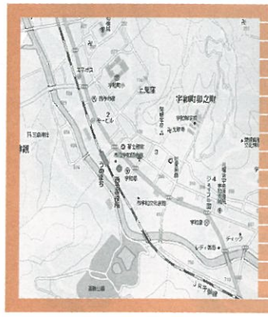
公共下水道事業特別会計
1千600万円
宇和処理区の処理場建設工事委託料、設計委託料の減額と処理場工事請負費の増額
総額13億4千100万円

簡易水道特別会計
3千400万円
田之筋簡水の管路仮設工事費、吉信水道の給水ポンプ設置工事費、多田営農飲雑用水事業負担金等
総額3億7千300万円
等々が特別会計の今回補正の主なものです。


完成間近の「クアテルメ宝泉坊」

9月13日から22日間の会期で、第3回定例会が開催されました。主な議案は、条例の制定4件、改正8件、廃止1件、予算関係では一般会計補正予算ほか10特別会計、市道の認定1件、廃止1件、請負契約の変更1件と合併後初の平成16年度一般会計歳入歳出決算認定ほか、特別会計・企業会計等13件の14会計決算報告の認定で理事者提出案件は41件でした。また、最終日には先般の台風14号の災害復旧費とアスベスト調査費（一部撤去費）の補正予算等3件が追加提案されました。

また、議会内取扱い案件では、請願1件、陳情1件を関係委員会へ付託、各委員会とも所管事項の付託案件を市内の現地調査を含め審査をおこないました。



Geographic Information System

GIS 地理情報システムは未来を変える事が出来るか

決算認定 監査委員の意見

監査委員　岡田周三

厳しい財政状況にもかかわらず、投資的経費は積極的に実施され、消費的経費は効率的な執行により、概ね所期の目的を果たしていると認められました。

一般会計では対前年度比歳入が11・9％の減。歳出においては14・7％の減となり、財政省力化の努力が伺われます。今後とも財政運営の目標は健全性を確保し、さらに限られた財源を最も効率的に活用して、住民福祉の向上を図る必要があります。

課題としては、住民負担の公平性の確保からも、或は財政健全化を維持するためにも、今後増加していく税等の徴収率向上のためこれまでの姿勢を見直し、法的手段等も考慮に入れて、万全の体制で一層の努力を期待するものであります。

行政としても組織、機構の積極的な見直し、同時に補助金、負担金の見直しを進め合理化と合わせて効率化を推進していただきたいところです。

請願
■「教育基本法の早期改正を求める」請願について
審査結果：継続審査

陳情
■林業活性化に向けた委員会の設置、事業の継続・拡大と経費助成について
審査結果：採択

議会日程

9月
- 13 火 本会議（開会、提案説明）
- 14 水 本会議（一般質問、質疑、委員会付託）
- 15 木 常任委員会
- 16 金 休会
- 17 土 休会
- 18 日 休会
- 19 月 常任委員会
- 20 火 常任委員会
- 21 水 常任委員会
- 22 木 休会
- 23 金 休会
- 24 土 休会
- 25 日 休会
- 26 月 常任委員会
- 27 火 常任委員会
- 28 水 休会
- 29 木 休会
- 30 金 休会

10月
- 1 土 休会
- 2 日 休会
- 3 月 本会議（委員長報告、採決、閉会）
- 4 火

補正予算の主な事業

3,200万円補正

一般会計は今回18億2千100万円を追加、総額280億5千300万円となりました。

統合型地理情報システム導入費
3千200万円
庁内で共用する境界・道路・建物等を一元管理するための基本となる航空写真撮影等地図データ作成のための委託経費

ごみ処分・収集等委託料
1億9千900万円
下半期の粗大ごみ、可燃ごみの処分、収集運搬委託経費

上水道第4次拡張事業出資金
1億7千100万円
水需要の増加と夏場の水不足を解消するため、宇和町明石地区に浄水場・配水地等を整備する事業に充てるため、上水道事業債（出資債）を起こし、上水道事業会計に出資するもので16年度～20年度間での継続事業

団体営土地改良事業交付金
1千500万円
三瓶南地区の果樹園地にモノラック2千100mを整備するため、交付金を支給するもの、事業費の65％で財源は県支出金

道路新設改良費
7千400万円
道路新設改良事業に係る測量設計費・改良工事費・物件補償費等

農地災害復旧費
1億7千万円
台風14号による農地災害106ケ所の復旧費

農業用施設災害復旧費
2億300万円
農道（野村）の地質調査委託料・災害復旧工事費、農地の保全施設災害と台風14号による施設災害82ケ所の復旧費

林業用施設災害復旧費
4千600万円
台風14号による林道災害61ケ所の復旧費

道路橋梁災害復旧費
1億9千300万円
7月の梅雨前線による豪雨災害と台風14号による道路橋梁災害28ケ所の復旧費

このほか、市の花、木、鳥の制定にかかる経費、がけ崩れ防災対策工事費、中山間地域直接支払い制度管理システム導入委託料、消防施設費では、耐震性貯水槽設置費等が主なものとなっています。


県歴史文化博物館上の宇和町配水タンク予定地

秋の夜長はジャズと質疑とまちづくり

定例会では、上程された各議案に対して議場において、議案別に質疑が認められています。質疑は1議案一人3回までとし、議員はそれぞれの視点で理事者に対して質疑をし、慎重に内容の審議を行います。

統合型地理情報システムとは

問 GIS整備業務委託料は来年度とあわせ8千700万円となるが、他にも利用可能か。

答 今回は固定資産税業務を計画しているが、今後は道路台帳、下水道台帳管理、都市計画、防災計画、農地管理等にも活用が可能。

問 水田農業対策費の負担金及び交付金985万3千円の内訳は。

答 加茂生産組合のトラクター2台とコンバイン1台購入費用の助成。

どうなる臨時・嘱託職員

問 嘱託職員と臨時職員の人数と今後の処遇について。

答 部局の状態を見極めながら労働過多にならぬようやっていきたい。

嘱託職員と臨時職員は420名で、嘱託は継続して雇用していますが、臨時は西予市になってからは2年契約となっています。

光ファイバー活用不十分

問 光ファイバーに接続されているのは行政間だけだが、これを個人に接続できないか。インターネットの普及率とADSLのエリア利用者はどの程度か。また、検討委員会の答申はいつか。

答 今後の利用については、諮問会議で近く答申されますが、巨額な費用を必要とするCATVをどう使うかなど、受益者負担を含めた検討をされています。インターネットの普及率は宇和、野村、三瓶に1局ずつ開通しています。光ファイバーは行政限定なので個人が接続しても通信はできません。

再 今、我々の地域は少子化、高齢化、過疎化という3重苦の中で生活しており、その上に情報の過疎の中にいるという危機感を持っている。多額の費用をかけた光ファイバーを行政間だけで終わらせるのではなく有効活用されたい。

間伐材出荷推進補助 今年度で打ち切り

問 林業振興費の間伐材出荷推進事業補助金640万円は、本年が最後になるのでないかと心配しているが、今後も継続し全市に広げてはどうか。

答 この事業は県の補助が今年最後となるが、今後、市の財政状況を考慮しつつ検討していきたい。

浄化槽補助 今年度何基

問 浄化槽設置事業補助金235万2千円は、当初予算で144基だったが今回は何基追加されるのか。

答 5人槽2基、7人槽4基の追加です。



あんしんの家・広々とした室内

質疑

グループホーム建設許可はどこが

問 グループホームの運営は公的資金なので、状況を把握しておくべきでは。

答 認可は県が行っているので、詳細を把握するのは難しいが、数が多くなると保険料にも関わってくるので、市としての考え方は伝えたい。今年の介護保険法改正により、今後は西予市の認可になるので、しっかりとした方針を出して運営したい。

問 小規模多機能事業の認可申請の状況はどうか。

答 法人が行う場合は法人の資金で行います。特養・老健は小規模であれば市町が計画を作って県に申請しますが、18年度は締め切られているので19年度以降は検討した上で計画していきます。

【決算の認定】財政見通しは

問 公債費が37億9千200万円、市債が40億円とあるが財政の見通しについて。

答 市債については、今年40億円。来年も40億円を予定。このまま40億円を借り入れていくと、公債費（元利償還）は3年後に2億7千万円。5年後に5億円ぐらいの支払いとなると試算をしています。

今後の財政状況は、財政調整基金が今回の補正後で8億円となり、年度末には10億円にしていきたい。



宇和町小規模多機能サービス施設　あんしんの家

旧5町の職員給与格差は

問 一般職員と臨時・嘱託職員の数と給料は、旧5町間で給料に格差があるが40歳でどれぐらい差があるのか。

答 人数については、一般職が687名、特別会計を入れて1千57名であり、給料格差は一番高い三瓶と一番低い明浜の差が2～3万円になると思われます。

旧5町の水道料金格差是正は

問 旧5町間での水道料金は、一番安い野村町と一番高い明浜町では2倍以上になるが、今後これをどう調整していくのか。

答 基本的に企業会計は、受益者負担が原則であり、一般会計から繰入をせずに、どれくらい赤字になるかを公開して、住民と議会に検討していただきたい。

問 水道料金は企業会計なので、投資部門については、地区が受け持つのか五町が一緒になった会計とするのか伺いたい。

答 投資部門を含めて住民の認識の下に料金を設定するのが基本であり、過去の高い水を使わざるを得なかった事情の中で、住民の理解を得るために一回赤字を出してみて検討したい。

西予市の国保と社保の実情は

問 保険料が年々上がっていく中で、国民健康保険と社会保険の西予市での状況は。

答 国保はデータがあるが、社保については社会保険事務所に公開してくれるかどうか問い合わせてみます。

再 保険料は払っているが、実態はつかめないということでは不信感が生じるので、是非社会保険事務所に問い合わせ調査いただきたい。



IT化が進む庁舎事務室

10名の議員、未来を語る！

一般質問

理事者も、応戦必至



元親　孝志　議員

問 大野ヶ原小学校は老朽化が著しい。特区を利用して、大野ヶ原にふさわしい「規模と内容の校舎」を、早急に建て替えるべきであると思うが所見を伺いたい。

教育長　質問の通り老朽化が著しく、耐震診断の対象外で早急に対応を迫られていますが、少子化や財政的な問題、通学距離の問題等、多くの問題が山積しております。今年度耐震度優先調査を実施しており、その結果をもとに、中長期的な計画を立て、施設の維持管理を行っていく必要があります。市内小中学校の改築等につきましては、検討委員会を立ち上げ、今後総合的に意見を聞きながら進めてまいります。

大野ヶ原小改築計画は検討委員会立ち上げ準備中



改築が待たれる大野ヶ原小学校

どうなった教科書採択問題

問 中学校歴史教科書の愛媛県11ブロックでの採用結果と西予市の決定に至る理由について伺いたい。

教育長　県内11ブロックとも東京書籍を採択しております。採択理由は「資料の見方や調べ学習」の手法を紹介し、歴史の学び方を身につけることが出来る内容が選択されており、主体的な活動を促すような配慮がなされています。また全体的にバランスがよく、きわめて適切な教科書と判断し、全会一致で採択いたしました。

介護サービスに特区の活用を

問 10月から施設介護の利用者負担が大幅に値上がりする。将来さらに高齢者が増えることを予測すれば、負担増はさらに避けて通れない。特区を利用して地域に密着した手ごろな施設を検討すべきと思うが考えを伺いたい。

福祉部長　国は今回の改正で地域密着型サービスを創設いたしました。地域密着型には6種類あって内一つには「小規模多機能型居宅介護」があります。宇和町の「あんしんの家」がこのサービスに該当します。

邪魔者イノシシ特区で退治

問 害獣による農作物の被害は、全国的に、年々被害総額が増えて関係者も頭を痛めている。特区申請を行って、法規制を緩和し、誰でもが捕獲できるようにすべきと思うが考えを伺いたい。

産業部長　狩猟の従事には、事故防止等の安全確保が不可欠です。

地元猟友会など関係団体の協力が得られ、捕獲チームを結成する等、地域一体とした取り組みが出来るようであれば、本特例を含めた特区について検討していきたい。

アスベストに災害復旧、地震対策、住民をどう守る！？





藤井　朝廣　議員

問 昨年度のごみ処理全体に8億円の予算を投じており、このごみ問題において市長は年間1億円の削減を目標に掲げておられるが、西予市全体でのごみの処理方法について伺いたい。

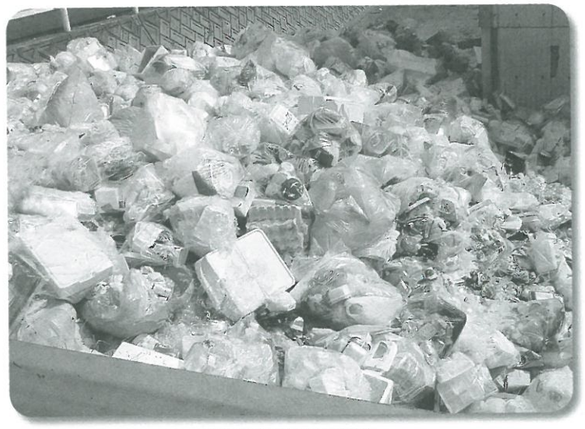
福祉部長　野村クリーンセンターの焼却炉が1炉であり、施設が故障した場合、旧野村・城川の可燃ごみの受け入れ先はありません。八幡浜の広域処理の受け入れ先が旧明浜・宇和・三瓶のみであるため、今後西予市全体のごみ処理方法、広域処理等も考慮に入れ、市内の統一した分別収集等見直しなど環境専門委員会を立ち上げ、西予市全体を処理できるリサイクル処理計画の検討をしたい。

ごみ処理方法の見直しは環境専門委員会で検討

市営墓地はできないか

問 西予市では、墓地の不足が予測されるが、個人での墓地の造成はできない。住民が墓地だけを他市町に構えなければならないということが懸念されるので、西予市の市営墓地計画を伺いたい。

福祉部長　市営墓地につきましては、現在、宇和黒瀬霊園・三瓶安土墓地・蔵貫墓地があり、契約状況は合計18区画が未契約。墓地埋葬に関する法律施行規則で、個人としては墓地の造成は不可能。宇和町の団地化に伴う墓地計画の必要性や南予の中心として他市町村の流入も見込まれます。東宇和、三瓶合併協議会の市町村建設計画の中で霊園公園整備事業として、平成22年度に計画をいたしております。今後、霊園建設の推進に取り組んでいきたいと考えております。



分別収集されたごみ

高すぎる電算委託料
適正な管理で削減する



森川　一義　議員

問 電算委託料、リース料の削減ができないか伺いたい。

総務部長　委託料の削減については、端末の設置・移動・配線・修繕等職員で出来る作業は出来る限り職員で行うよう努めていきたいと考えており、今後の適正な定員管理の実施とともに端末のリース契約台数も削減できるものと考えております。

給与・報酬を削減できないか

問 職員の給料・賞与を2%、特別職の給料を5%、議員の報酬を5%削減してはどうか。

市長　人事院では、国家公務員給与の改定が勧告されており、今後は愛媛県の勧告に基づいて、実施をして行く予定でおりますので、2%以上の引き下げがなされるものと思われます。

道路改良、どうする

問 3路線（伊予石城停車場線・伊延東多田線・鳥坂宇和線）の改良とJR駅裏の河川敷の公園の管理はどのようになっているか。二車線の道路にして、土地を有効に使うべきではないか伺いたい。

建設部長　いずれの路線も未改良区間は用地の協力が得られていません。西予土木事務所より、残事業の実施に向けて努力する旨の、回答を得ておりますので、市としては今後は県に対しての要望と、併せて受け入れ体制の強化をしていかなければならないと考えております。

人材育成方針は

問 仕事ができる職員、人材をどのように育てる考えか伺いたい。

助役　「考える職員」の育成が、今後重要なポイントになってくるために、職員研修計画に基づき、職員の資質、教養の向上による職務遂行能力の増進と新たな市行政に対応しうる職員の育成を図ってまいりたい。現職員の中には、素晴らしい人材が多くいるので、実績に基づいた、昇格、昇給を含めた人事異動も実施し、士気の高揚を図ってまいります。



JR卯之町駅裏の河川公園



松島　義幸　議員

問 農林水産業の恒常的な低迷を打破するため、農林漁家の所得向上を目指した民間主導の販売プロジェクトチームを編成し、地域イメージを含め、生産から販売までを再構築する必要があると考えているが、西予市の産業振興方策と産業創造戦略会議の位置づけについて伺いたい。

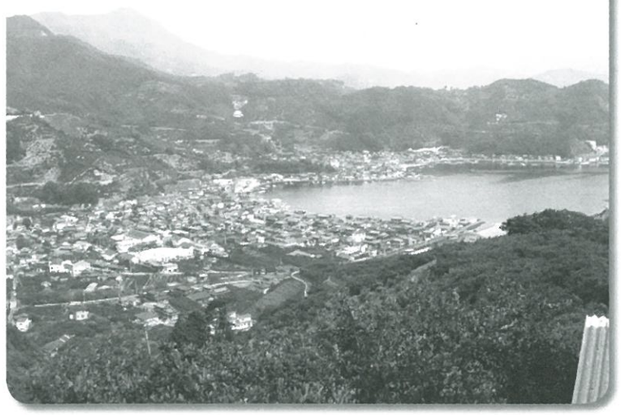
市長　産業創造戦略会議は、合併した5つの町の特色・現況を把握し、補助制度的なものとは別に、地理的条件を生かしたり、現在取り組んでいるものの見直しを行うなど、ちょっと挑戦してみたくなるような分野から進めて行きたいと思っています。

市の産業振興施策については、自らの地域は自らが考え、自分の地域にあった振興施策を進めて行くことが重要と考えています。都市と農村の交流（グリーンツーリズム）1千400mの標高差を活用した農作物の時差出荷・既存の第三セクターの有効活用・農産物のブランド化等の取り組みが必要です。

国道378号線の早期整備について

問 現在、計画されている俵津バイパスについては、一部漁業者の区画漁業権の問題で工事に着工できない状態となっている。進捗状況はどの様になっているのか伺いたい。

市長　平成10年度に国庫補助事業として新規採択された俵津バイパス明浜工区は、計画延長2・1kmで、今年度は4億5千万円が予算割当されています。現在は、西予土木事務所で俵津漁港区域内の公有水面埋立免許申請の準備中であり、本年度中に埋立免許を取得し、筏の移転補償など地元調整がまとまれば、埋立工事に着手する予定としていますが、一部漁業者の同意がえられず現在その交渉を行っています。今後、移転補償交渉を継続的に進め、計画路線の埋立申請手続きに必要な同意書を頂けるよう努力していきます。なお、明浜工区の進捗率は5%で、工事の着手と併せて用地買収の促進が急務となっています。



早期整備が期待される俵津バイパス工区



沖野　健三　議員

問 公共施設のアスベスト調査は進んでいるか。また、使用していればどのような対策を講じるのか伺いたい。

建設部長　8月から573の公共施設において、アスベストが含まれている疑いのある施設が確認されたため、応急の飛散防止処置等を行っています。集会所等の利用については、使用を控えていただいています。市民からの問い合わせについては、市民生活課に「アスベスト相談窓口」を設け対応をいたしたい。

明石水源計画は

問 宇和町の生活用水の確保について、その後明石水源の計画はどうなったか伺いたい。

建設部長　第4次拡張事業として、国庫補助で、平成17年度より浄水場施設の整備に着手しています。平成18年19年度において、歴史文化博物館上の市有地に1千㎥の配水池2基を建設する予定であり、一部の供用開始が平成19年4月の予定です。全ての施設が完成し供用開始を行うのは、平成20年4月の予定です。これらの施設を完備することにより、安全で安定した水道水を供給する事が可能になります。

公共施設のアスベスト調査は
18施設に使用の疑い



アスベスト除去工事がされる総合センターしろかわ

新庁舎建設を急げ！

問 早期に新本庁舎の建設に取り組むべきと思うが、考えを伺いたい。

市長　庁舎建設の最大の要件は、新しい庁舎の姿を市民と共有する中で、市民のコンセンサスを得ることであり、時期、場所、財源、また総合支所のあり方など、総合的に検討することが必要です。今年度は、まず関係職員により庁舎建設にあたっての問題点や、今後の進め方についての勉強会を行っていきます。



アスベストの疑いのある階段周りの壁

黒瀬城周辺整備を 5カ年計画で実施する



坂本　隆重　議員

問 県では、「森林の保全」と「森林と共生する文化の創造」を目的として、森林環境税を導入し森林の整備を行おうとしている。「森をつくる」、「木を使う」、「森とくらす」の3つをテーマに指定事業と公募事業の二種類の事業方法で展開することとしている。そこで西予市を中心に南予一円を統治した西園寺公の居城、黒瀬城周辺を里山自然林として公募事業で整備できないか伺いたい。

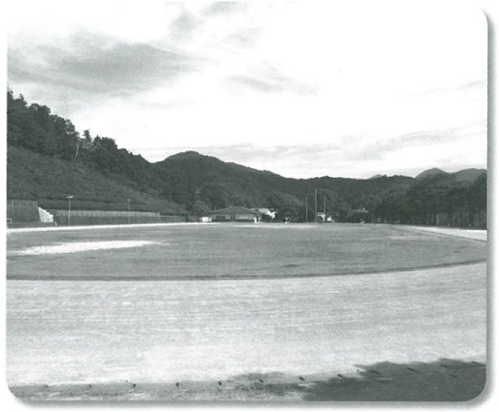
教育部長　黒瀬城周辺は、宇和運動公園と一体化した自然公園として位置づけ、黒瀬城跡、遊歩道の整備、桜植樹等してきました。

森林環境税の活用については、宇和町林業研究会が関わり、森林環境保全基金公募事業に応募しています。今後、黒瀬城登山道の整備、林内管理道の整備、看板、休息用ベンチの設置、東屋の修繕などを5カ年計画で実施します。

運動公園に専用サッカー場を

問 近年サッカー熱の盛り上がりは世界的になっている。県内でも愛好者は野球をしのぐ勢いで伸びてきている。サッカー場を開設すると、青少年のサッカーの振興と技術の向上、合わせて大会の誘致が出来ると考える。運動公園の下の観覧池を利用して、サッカー場の開設はできないか伺いたい。

教育部長　西予市では、スポーツ立市を提唱し、振興計画書を策定し検討する事業を進めています。県サッカー協会には1万943名西予市体育協会サッカー登録者372名でサッカー専用球技場は考えていません。長年の検討課題であり新市建設計画の中でも要望いたしております。



宇和運動公園グランド

西予市農業支援センターについて

問 今回、農業改革の指針となる食料、農業、農村基本計画を策定されたが、何を支援するのか具体的に方針を説明願いたい。

産業部長　農業構造改革で は、担い手に対して施策を集中するシステムに移行します。

西予市でのPFIの導入は あらゆる角度から調査研究する



嶋川　武文　議員

問 『西予市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例』については、西予市は個人の場合2名、法人の場合3名の保証人を求めているが、借り入れ手続きの際一番憂慮されるのは、第三者の保証人のお願いである。大洲市と同じ個人借り入れ1名、法人1名の条例改正を行う考えはないか伺いたい。

保証人の規定緩和を

産業部長　当市においても制度の利用拡大と申込者の負担緩和を図るため関係機関と協議をし、他市と歩調を合わせて参りたい。平成18年度からの運用を予定しております。

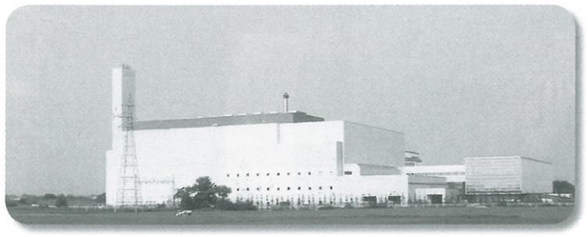


PFI事業方式による秋田県大館クリーンセンター内部

PFI導入はできないか

問 PFI事業方式とは、民間の資金や技術的・経営的ノウハウを積極的に活用して公共施設を整備したり、公共サービスを提供する事であるが、西予市でも今後、ごみ焼却場建設、本庁舎建設、宇和病院の老朽化等、計画企画立案の際PFI方式を取り入れる考えはないか伺いたい。

総務部長　今後、大規模な事業を実施するにあたっては、事業効果をはじめ、より効率的な行政運営と質の高いサービス提供を実現することがもとめられますので、PFI事業方式を含めあらゆる角度から調査研究をしていきたいと考えております。



青森県弘前地区環境整備センター全景

防災への市の方針は 危機管理係を新設



山本　英男　議員

自治基本条例制定は

問 自治体の憲法ともいうべき「自治基本条例」について、今後制定するか、方針を伺いたい。

助役　「自治基本条例」は全国的に制定の動きがあります。これまでに制定されたものを見ると内容にかなりの多様性があり、各自治体の状況や指向性の違いが反映されているといえます。基本的には、住民の権利や役割・責務、執行機関の役割・責務等を明文化し、住民と行政の共通理解の上にたって、まちづくりの基本理念と目標を共有するとともに住民主役の協働のまちづくりを進める指針が示されています。今後、西予市としては地域の現状をふまえて、まちづくりの基本理念を見すえた多面的な議論を行う必要があります。市政運営の一考にします。



防災計画作成中

防災の方針は

問 防災安全に係わる市の機構改革（防災安全室の設置）及び防災に対する方針を伺いたい。

総務部長　現在、「西予防災計画の確定とその実効性の検証」「避難勧告等の基準と伝達マニュアルの策定」「総合防災訓練の実施」「防災マップの作成」等の業務を進めています。また自主防災組織については明浜町で住民自らが積極的な活動を展開され、それを交通消防係と消防本部が支援しています。18年度から「危機管理係」を新設し、より一層の防災対策を図っていきます。

問 市長の「ある一日の動静」を市民に公にしていただけないか。「広報せいよ」なり、市のホームページでもよいが。

総務部長　首相や知事は前日の動静が新聞紙上で紹介されています。市長の場合、「広報せいよ」への掲載は2ヶ月遅れとなり、あまり意味がないのではと考えます。今後はホームページで対応出来るかどうかを検討します。

市長の一日　9月7日

【午前】
8時20分登庁。三瓶町で三瓶総合支所課長会に出席。台風による罹災状況を視察。明浜町で明浜総合支所課長会に出席。

【午後】
城川町で台風による罹災状況を視察。野村町で西予市一般廃棄物焼却場公害監視委員会に出席。市長室で執務、来客対応。建設業協会西予支部役員と会談。宇和町で愛媛大学古墳発掘団と地元、行政の懇親会に出席。

ピンチ！ 三滝ロッジ 運営体制づくりを検討



岡山　清秋　議員

城川自然ロッジの運営について

問 三滝ロッジでは立地条件等の問題もあって依然、厳しい運営をしいられている。平成17年11月には、新たな健康増進施設も完成予定であり、今後、これらを生かした長期滞在型の保養の町づくりを本格的に進めていかなければならない。課題である管理運営面も形態等よく検討し、地域活性化のため存続できないか、伺いたい。

市長　城川自然ロッジは、平成2年10月に三滝ロッジとして造られたもので、その後平成9年10月から第三セクター㈱城川自然ロッジとして今日に至っております。

今後の管理運営について辞退したいとの意向が伝えられていますが、施設周辺には、三滝渓谷遊歩道・地質館・視覚体験館等の施設も配置されており、仮にロッジの閉鎖ということになると、大きな影響があります。

市では現在第三セクターの経営診断を行っておりまして、今後はその結果も踏まえ、十分な検討を行う必要があると認識しております。

緑のいやしゾーンとして位置づけられている城川においては、全体的に保養の町・いやされる町としての取り組みが必要不可欠です。

さらに、自然ロッジから大規模林道を経由しての大野ヶ原・土居家等へのコース等、グリーン・ツーリズムとしての位置づけも可能な施設であり、できうる限り健全な継続運営が行えるよう体制作りに努めていきます。



視覚体験館びっくりはうす



厳しい運営の三滝口ッジ

初視察受入れ！ 東温市議会 西予市議会だよりの研修受入れ

8月19日、東温市から我々の議会だよりおよび編集委員会の研修をしたいという申し入れがあり、快く受け入れをすることにしました。西予市議会としては、大変名誉なことです。まだ、発行して、1年足らずですが、周辺の市町村から勉強したいといわれるのは、素直に喜んで伝えるものは伝える、という気持ちで対応しました。



西予市で研修する東温市議会

西予市議会だより編集委員は、当市と比べると平均年齢は高いようでしたが、やる気は満々で、どのようなものができるか今から楽しみです。

西予市議会だよりの研修受入れは、実際に取り組めている西予市議会がすばらしいのかもしれません。

実際に、今のやり方で編集に取り組めている西予市議会がすばらしいのかもしれません。

西予市議会だよりの研修受入れは、実際に取り組めている西予市議会がすばらしいのかもしれません。

だろうかと、若干心配をされていたようでした。

実際に、今のやり方で編集に取り組めている西予市議会がすばらしいのかもしれません。

だろうかと、若干心配をされていたようでした。

実際に、今のやり方で編集に取り組めている西予市議会がすばらしいのかもしれません。

国・県との太いパイプを 要所要所で陳情する



山本　昭義　議員

問 三位一体の改革や2010年のプライマリーバランスの黒字化、交付税の減額等を考えると、歳出を抑えるだけでは財源確保は厳しい。

国県とのパイプを今以上に強固にし財源確保に努め財政計画を立てるべきではないか伺いたい。

市長　地方の財政状況は国の財政構造改革により全国の自治体の財源不足は危機的な状況になっています。西予市においても基本的には1割の財源で他は国県に依存しているのが現状であり、先ずは抜本的な歳出を見直していき、行政を司る者として国県とのパイプを強固にして要所要所で陳情をして財政計画を立てなくてはならないと考えております。

惣川・大野ヶ原地区に高齢者の施設を

問 惣川地区は少子高齢化（惣川地区の高齢化率55・7％、西予市は33・5％）が非常に進んでいる。又、地区面積も56平方kmと広く集落も点在しており、住民、特に高齢者の安全を考えた時お互いの安全を見守り安心して働ける場としてあんしんの家集合住宅を計画できないか伺いたい。

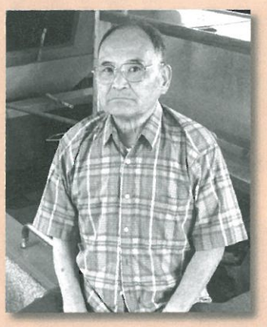
福祉部長　愛媛県より25年も先に進んでいて超高齢化をむかえている西予市では高齢者福祉の取り組みが大変重要な課題となっています。惣川地区も非常に高齢化が進んでおりますが、当地区には惣川高齢者福祉センターが既にあり、実情を調査し、民間主体の運営が図れる様であれば検討したいと考えます。



満員の惣川高齢者福祉センター

市民の声

地域の足の確保を



明浜町俵津　宇都宮　力

行財政改革とか三位一体の改革などと叫ばれ、西予市では緊縮財政となっていますが、地域にとって必要不可欠なものまで切り捨てると、地域の繋がりが無くなってしまうのではないかと心配しています。

長年文芸活動に参画していることから、明浜町での集まりに出席することが多いのですが、西予市になってから住民の参加率が低下してきています。その原因は、明浜町は東西に細長い地形なので、文化事業や福祉の集まりには町の方で交通の確保をしていましたが、今ではそれも削減され、さらに公民館などの利用制約が増えたためです。

市のため町のためと思って活動していますが、支援が無くなると、役員のなり手もいなくなり、継続できなくなるのではないか不安です。

地域の行事は、仕事や用事で忙しい中、住民が私を捨て公事に尽くしているので、一人でも多くの人が参加できるよう車のない人や高齢者のためにも交通手段の確保を期待しています。

各総合支所に活気がないって本当ですか?

委員会では4町の現状と課題を調査しました

総務常任委員会

当委員会に付託された案件について、9月15日から5日間、関係部課長の出席を得て慎重審議を行いました。

9月補正を可決

- 条例の制定3件
- 条例の一部改正5件
- 17年度一般会計補正予算（所管分）
- 17年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計補正予算

いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

決算の認定

- 16年度一般会計歳入歳出決算の認定（所管分）
- 16年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算の認定

いずれも原案のとおり、全会一致で可決ならびに認定いたしました。

今回の決算審査で特筆すべき点は、経費節減に努められた結果が不用額の累積黒字であり、6億8千万円という実質的な繰越財源となりました。それは、同時に17年度当初予算の財源の一部として生かされていることを確認しました。これまでの努力に対し評価するとともに、地道な経費節減対策をさらに継続されるよう強く要望しました。



第1委員会室での議案審査状況

決算の認定

16年度6億8千万円黒字決算

- 16年度一般会計歳入歳出決算の認定（所管分）
- 16年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算の認定

いずれも原案のとおり、全会一致で可決ならびに認定いたしました。

今回の決算審査で特筆すべき点は、経費節減に努められた結果が不用額の累積黒字であり、6億8千万円という実質的な繰越財源となりました。それは、同時に17年度当初予算の財源の一部として生かされていることを確認しました。これまでの努力に対し評価するとともに、地道な経費節減対策をさらに継続されるよう強く要望しました。

理事者に異議有り

委員会終了後理事者と意見交換をいたしました。

主な要望事項は

◎交通弱者に対する交通手段の確保をどうするか

◎市の光ファイバー網の民間活用並びにCATVの積極的な取組みを

◎財政難における、

①学校施設整備をどうするのか

②公民館運営経費の確保と適正な補助を

③文化財の保存・伝承に対する支援、助成を

④文化会館の管理運営のあり方の研究を

⑤土地開発公社への債務保証は慎重に検討を

◎中高年齢者に対し、介護予防支援事業を活用した文化体育の振興策を

◎三瓶地区の救急搬送のあり方について検討を

◎人事面で公平適正な配分と配置を

以上の事柄について、理事者に検討いただくよう意見提言をいたしました。



城川総合支所での意見交換

総合支所と意見交換

9月21日～22日の2日間、所管事務調査のため、4町の総合支所を訪問して、各支所長外所管の課長、課長補佐を交えて、合併後の現状について意見交換を行いました。

各支所共通の課題として挙がった点は、

①本庁との連携、連絡体制がしっくりいっていない。

②地域の特性を生かした、誇りのもてるまちづくりの進め方を今後どうするのか

③ともすると本庁からの指示待ちとなり、消極的になっているのではないか等、問題提起がありました。

しかし各支所とも個別の諸課題に直面しながら日々努力されている様子を伺うことができました。総合支所方式を採用した中で、当面、支所の存在価値をかけた努力を期するとともに、議員としても可能な限りにおいて支援していく必要性を痛感しました。

請願

◎教育基本法の早期改正を求める請願について

この請願については内容の理解を深めるため、請願の提出者から説明を受け、その後慎重に審査をいたしました。しかしテーマがあまりにも大きすぎ、引き続き調査研究を必要とするため、今定例会においては継続審査といたしました。

西予市の医療に黄色信号！

厚生常任委員会

当委員会に付託となりました、議案10件、認定案件8件について慎重に審査を行いました。

「痴呆」がなくなり「認知症」に

「西予市在宅ねたきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例制定について」及び「西予市在宅介護支援センター条例の一部を改正する条例制定について」は、「痴呆」という用語を「認知症」と呼称する等の見直しが行われました。

つくし苑使用料改正

「西予市野村介護老人保健施設事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、法改正に伴い、「つくし苑」の使用料を改正するものであり、施設の利用者負担額は収入に応じて第1段階から第4段階までに区分されました。

保育所の民営化は慎重に検討

「平成17年度西予市一般会計補正予算（第5号）」については、保育所の今後の在り方、民営化、統合等について、また保育所の遊具の点検、修理について質疑がありました。

保育所の遊具の点検に関しては、専門業者による点検を行っているとのことであり、修理に関してもできる限りの対応をしていきたいとのことでした。

ごみの減量化を！

ごみに関する件で1トン当たりのごみ処理委託料の単価が約4万3千円必要であり、ごみ処理費が財政を圧迫しているため、ごみの減量化を検討していくべきであるとの議論が交わされました。

保育料滞納者対策を！

「平成16年度西予市一般会計歳入歳出決算の認定について」は保育料の滞納者には厳しく指導し、徴収すべきである。

また検診等の受診率が低いとおもわれるので、基本検診の見直しや、人間ドックの補助に配慮すべきであるので検討願いたい。

以上のような質疑がかわされましたが、保育料の徴収に努力し、諸検診等の見直しや、補助等に関しても検討して行くとの答弁でした。

以上、当委員会に付託されました全議案について、原案のとおり可決、認定しました。



使用料が改正されるつくし苑



第2委員会室での議案審査状況

委員会審査

外注業務を減らし専門職育成を

産業建設常任委員会

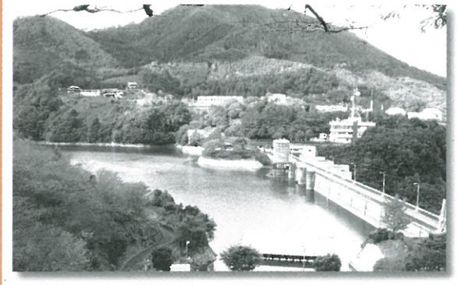
当委員会に付託された議案8件、認定6件、陳情1件について慎重に審査を行いました。

9月補正予算

●工事等調査設計業務の取り扱いについて

市職員で対応不可能な業務を外部に委託しているとの理事者の説明でありますが、外注ありきでなく、極力職員で実施していただきたい。

専門職の育成は合併によるメリットの一つであり、経費削減にもつながることから、行政全体の課題として取り組むよう要望しました。



明浜水源の野村ダム

特別会計決算

明浜上水道では一人あたり一日平均使用水量が211㍑であり、他町と比較して100㍑以上少ない状況です。同じ生活環境にありながらこの違いは他町の1.5倍～2倍以上という割高な使用料金が影響していると思われます。

委員から、野村ダムからの受水料が料金に反映されている事情は理解できるが、市となったからには一本化が望ましいとの意見がありました。

合併協議において、ゆるやかに調整するとしていますが、あらゆる可能性を模索し、早期の格差是正に努めるよう要望しました。

以上、全議案を原案のとおり可決決定、全決算を認定いたしました。

一般会計決算

●エフシーの待遇格差

㈱エフシーと民間事業者との間に労務班員の待遇格差がある。今後、共存を図っていくならば、不公平間を生じないよう条件整備をすべきであるとの意見に対し、理事者から、経営診断の結果を待って、すべての第三セクターについて協議していくとの答弁がありました。

●台風被害

昨年の台風被害による市内道路災害復旧工事のうち、激甚災害に認定された箇所数は、台風16号が62箇所、台風23号が20箇所の合計82箇所でした。

陳情

◎林業活性化に向けた委員会の設置、事業の継続・拡大と経費助成を求める陳情について

木材価格が長期低迷する中で、林業関係補助事業は、森林所有者の支えとなっておりまた、意欲を喚起するための重要な事業と認識しております。

作業道開設と併せ特段の配慮をお願いし、採択といたしました。



第３委員会室での議案審査状況

Relay（リレー）

議員紹介

介護は地域ぐるみで

河野　作生　議員



最近どこどこのおばあちゃんのもの忘れがひどくなった、親戚のおじいちゃんは息子や孫の顔すらわからなくなってしまったという話を耳にします。私の父も、時々幻覚症状がでるようになりました。

認知症とは、一部の記憶がとだえたり妄想現象が起こる病だそうです。脳細胞が壊れていくアルツハイマー型と、脳細胞に血液が行き届かなくなる脳血管性の二つがあるそうです。もちろん病気ですから専門医に治療してもらう事が先決ですが、個人としても、そうならないように努力する事が大切です。

仕事や趣味を持ち、適当な運動をする。これからは、託児所ならぬ、託老所をそれぞれの地区で集会所、空家などを利用して、小規模で自宅に近い場所において地域ぐるみで、協力して行かねばならないと思います。誰しも、生まれ育った所で多くの知り合いと見慣れた景色の中で過ごしたいものだと思います。集会所などを建て替える場合など、多機能介護施設としても考えてみてはどうでしょうか。

今後折りに触れ、この課題については、皆さんと共に考えていきたいと思います。

思い

兵頭　勇　議員



暑さ寒さも彼岸までと言われますが、今年は特に残暑が厳しいようです。この議会だより第六号が届く頃には、そろそろ紅葉が進んでいると思われます。

さて、西予市は四国の西南部に位置し、臨海部、内陸部の盆地、四国山地までを含めた多様で豊かな自然資源と産業を持つ地域が一体となりました。その特性を活かしながら新市の将来像を市民が主人公となり諸施策を着実に推進しなければならない思いで議員が一丸となって取り組んでおるところであります。

行財政改革の時代にあって、地方の弱小自治体にとっては極めて厳しい財政状況下にありますが、西予市におきましては健全な行財政運営を基本に、社会、経済の急激な変化の中にあって将来に禍根を残さないよう堅実な事業の推進につとめる事が肝心かと思っております。

さらに、市議会にとっては次回の市議会議員選挙における議員定数や選挙区の課題解決のため、市民の声を聞き、議会としての取り組みをする時がきたと思います。

少子高齢化社会における社会福祉の充実、農林業の振興対策、環境対策、雇用の促進など多岐にわたる事業の展開を進め、市政の運営に努力して参りたいと思っております。

日々是努力

酒井宇之吉　議員



平成15年6月24日午前8時前、急に胃の上部が痛み始めた。酒の飲み過ぎとは異なる凄まじい痛みである。「直ぐに宇和病院へ行きなさい。手配はしておく。」という医者の指示を受けた。「急いで」の判断で九死に一生を得た。病名は心筋梗塞。日本人の死因では、一位の癌に次ぎ第二位である。

今年の6月24日、生かせていただいた感謝を込めて、医者と数人の仲間で、いわゆる三回忌を行った。生きていることの喜びと生かされていることの感謝を体全体に感じたひとときであった。その後の健康管理は医者の処方箋に従うことだと自分に言い聞かせ、「水分を朝夕切らさないこと」「投薬を守ること」「睡眠を十分にとること」の三つは、守ったつもりである。その他のことはこれまでと一向に変わらない。

ただ退院後欠かさず実行していることは、ラジオ体操。NHKで購入したテープに合わせ、体を動かす。そしてウオーキング。この時間を見いだすことが問題だが、気力で挑戦している。今まで無精者であった自分にとって、これらを生活習慣にするまでには時間がかかった。退院後の挨拶状に記した「今後は自分の歳を自覚し、口も慎み酒も程々にし……。」もあの凄まじい痛みもすっかり忘れている自分である。災害は忘れた頃にやってくるを肝に銘じ、自他の危機管理のためにも日々努力を続けたい。

合併後のまちづくりはこれからどうなるのですか。描ききれない将来像。抱える財政問題。進む少子高齢化。果たして希望に満ちた未来を、行政は市民に約束できるのですか。

西予市議会では、これらの諸問題を解決すべき手段・方法を求めて、昨年に引き続き委員会研修を行いました。何か西予市のために参考になる事例はないか。他の市町村は今どのように対処しているのか。まちづくりのヒントを探して３委員会は全国を走りました。

特区・行革・観光 環境・農業 先進地視察報告

【総務委員会】

構造改革特区・行財政改革 観光カリスマに学ぶ

特区を活用せよ　長野市

構造改革特区とは、自発的な発想により地域の特性に応じた規制の特区を導入する区域を設け、地域経済の活性化を図る制度です。長野県ではすでに40あまりの特区申請を行い、積極的に規制緩和の中で独自の町づくりが進められていました。西予市としても是非これに学び、特区申請によって独自の町づくりを進めるべきであるという視点から、今回の研修を行いました。事例として■インターネットアカデミック特区　■地域力活用教育特区（校地・校舎をもたない小学校グリーンヒルズ小学校）を研修しました。

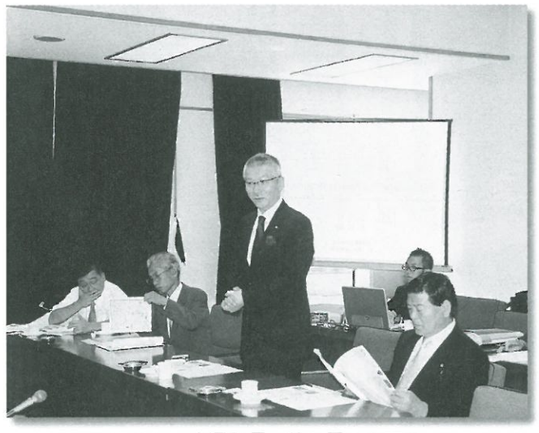
※特区　地域限定の規制緩和のこと

行財政改革に身を削る　飯山市

飯山市は「合併はしない」一道を選択して、そのためには厳しい行財政改革を実施されていました。職員数の削減はもとより、職員給与・特別職報酬の大幅な削減、保育園や学校の統廃合、外部委託、補助金の見直し等思い切った改革が始まっていました。これらを見れば西予市の改革はまだまだ手ぬるい感じがいたしました。

観光カリスマに聞く　草津町

『自立と共生のカリスマ』といわれる中澤町長は、交付税減額解消のために観光と交流人口に着目し、草津温泉に年間300万人の観光客を呼び込むにいたっています。「歩みいるものに安らぎを、去り行くものにしあわせを」という町民憲章どおりの温かみのある行政が行われていました。



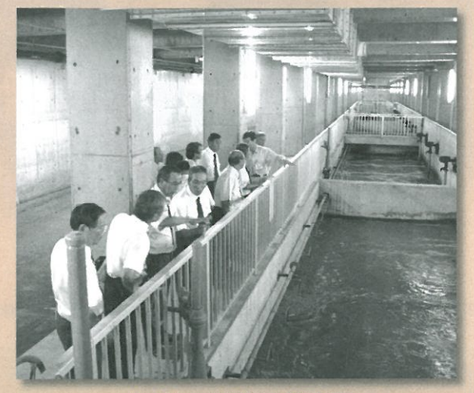
カリスマ中澤町長、熱き思いを語る

全戸水洗化計画・一村一農場・みはらしファームは西予市の参考になりうるか

【産業建設委員会】

農村の生活革命は排水処理から　長野県佐久市

佐久市は平成元年に市内全戸水洗化計画をスタートさせ、平成３年に生活排水処理エリアマップを作成しました。現在市内における公共下水・農業集落排水・コミュニティプラント・合併浄化槽をあわせた全体の供給率は89.4%。水洗化率74.8%でした。これから学んだことは西予市においては、今後事業方式や実施区域の『棲み分け』を中心的な考え方に置きより計画的に取り組むことが必要です。住民の声を聞き、十分な理解を得て推進することと、エリアマップを活用した情報の共有化が大切であると考えます。



佐久市の生活排水処理場

一村一農場（宮田方式）　宮田村

宮田村ではＪＡ・村・生産者が一体となって農業の振興や支援に取り組んでいます。今回特筆すべきことは『地代制度』です。農地所有者が所有面積に応じて拠出した反当り5,500円の共助金を基金として造成し、農地流動化に寄与しています。研修では当制度が確立にいたるまでの苦労と地域リーダーの強い意志を感じました。

みはらしファームは地域農業者の育成に　伊那市

当施設は昭和50年に温泉・農園・農産物販売所を3本柱に据え、各施設の運営主体は様々で、任意団体・地元の生産組合に委託や指定管理者の指定をしています。これらのことから参考になったことは、行政とＪＡの連携がうまくいっていて、互いに知恵を出し合い役割分担しタイアップしているということです。

【厚生委員会】

年間８億円ごみ処理費（西予市）秋田県に対策を学ぶ

混ぜればごみ分ければ資源　弘前市

弘前市では３Ｒ運動（英語の頭文字）を目標として

①ごみになるものを家庭に持ち込まない

②繰り返して同じものを使う

③ごみをもう一度素材原料として使う

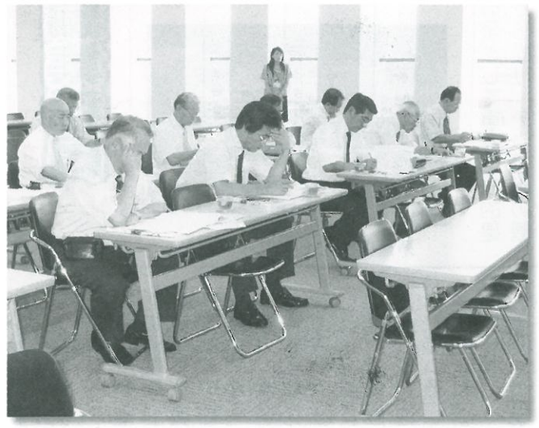
を基本理念に掲げ12分別をして、処理をされていました。

Ｐ・Ｆ・Ｉ方式　大館市

大館市は地球に優しい環境づくりを目指して、市民、企業等の協力を得ながら環境負荷の低減に努力しておられました。その一環として民設民営いわゆるＰＦＩ方式によってクリーンセンターが運営されていました。市の説明では、市が運営することを考えれば約半額ですむとのことでした。大館市では秋田県と18市町村で『秋田県北部エコタウン計画』を国に申請をし承認を得て、様々な環境事業を展開されていました。

西予市は何を学ぶべきか

西予市においても市民の意識改革を図り、発生抑制、再利用、再生利用を徹底し、その上で市民、企業の協力を得ながら、コンポスト事業、廃プラスチック利用事業、再利用事業等の施設の整備事業、すなわち「西予市エコタウン計画」を国に申請し早期に承認を得て計画を推進するべきであると思います。



弘前地区環境整備センターでの研修